



株主の皆様へ

# Thank you 便り

第104期 (2012年4月1日~2013年3月31日)

謝謝

Terima kasih

Cám ơn

ありがとう

Merci

Dank u wel

Salamat

Terima kasih

Obrigado

Danke

Thank you

شُكْرًا

ありがとう

**SANKYU**

ขอบคุณครับ

감사 합니다

Merci

Thank you

धन्यवाद

Obrigado

Thank you

धन्यवाद

謝謝

شُكْرًا

Cám ơn

Dank u wel

감사 합니다

Danke

 山九株式会社

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>

## ！ マレーシア Shell ポートディクソン製油所の日常保全業務を獲得



4月、山九マレーシアは、Shell Refining Company (Federation of Malaysia) Bhd.との間で、ポートディクソン製油所の日常保全業務に関する契約を締結しました。契約期間は3年間で、当製油所での定修工事 (SDM) や各種プロジェクトにおける施工能力が評価されました。今後も山九グループは、品質と提案力をグローバルに提供してまいります。

## ！ 日本工業検査株式会社を子会社化

日本工業検査株式会社

創業：1963年8月 本社：川崎市 事業内容：非破壊検査事業

4月、山九は、日本工業検査株式会社の全株式取得について譲渡契約を締結しました。同社は、プラント設備や石油タンクなどの検査を行う、非破壊検査業界2位の大手で、子会社化により山九グループとして、検査から補修提案・改修工事までお客様に信頼いただける、一貫したサービスのレベルアップを進めてまいります。今後は、プラント工事や保全業務とのシナジー効果を高め、グループ全体で機工事業の売上げ1,700億円

を2,000億円まで拡大させることを目指してまいります。



### CONTENTS

ニュースフラッシュ .....	P 1
株主の皆様へ .....	P 2
よくあるご質問 .....	P 3
クローズアップ 中期経営計画の進捗 .....	P 5
ユニークなビジネスモデル .....	P 7
山九グループトピックス .....	P 9
連結財務情報 .....	P11
単体財務情報 .....	P13
会社情報 .....	P14

### 将来情報に関するご注意

本誌の掲載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測にはリスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。

**グローバル事業の展開と深化を実行し、  
事業体制の再編や更なる体質の強化を図り、  
中期経営計画達成に向けチャレンジしてまいります。**

株主の皆様には、平素より格別のご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

山九グループの第104期の経営成績をご報告するとともに、今後の方向性についてご説明申し上げます。

当期の日本経済は、前半こそ回復の兆しが見られましたが、夏以降の外需の減退、特に中国向け輸出の失速は日本の実態経済に大きな影響を及ぼしました。昨年末以降、政権交代に伴う経済諸政策を受け、円高修正と株価上昇が進みましたが、景気回復を実感できるまでには至りませんでした。

このような環境下、山九グループでは、中期経営計画を当期より始動し、その中核となる「売上拡大」、「コスト構造改革」、「経営構造改革」の3つの重要戦略の中で、3PL（一括物流）、3PM（一括メンテナンス）、EPTC（一貫責任施工体制）等、各事業分野の専門性を活かした競争力強化と、生産性・作業品質・安全品質の向上にグローバルな取組みを展開してまいりました。

その結果、当期連結売上高は前期と比べ1.4%の増収となり、利益面では、当期純利益が6.8%の増益となりました。

2014年3月期につきましては、海外では米国や新興国の回復を背景に、全体として緩やかな成長が、国内では経済政策や円安・株高効果等による持ち直しが期待されます。その中において、山九グループは物流と機工の両面にわたる東南アジア・中国を中心としたネットワークを駆使し、更なる展開と深化を実行してまいります。

株主の皆様には、今後とも引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月



代表取締役社長

中村公一

山九グループをより深く理解していただくために  
株主の皆様からの  
よくある質問にお答えいたします。

? 当期の業績について

厳しい事業環境下、山九グループでは受注拡大とコストの低減に努めてまいりました結果、当期は、対前期比増収、収益面では当期純利益が増益となりました。

売上高は、新規物流作業や大型工事の完成等により、前期比1.4%増の4,016億58百万円、営業利益は、お客様の予算圧縮や、社内情報システム費用等販管費の増加もあり、3.5%減の178億31百万円となりました。経常利益は、為替差損の減少等により営業外収支がプラスとなりましたが、1.7%減の179億51百万円、当期純利益は法人税等負担率の低下等により6.8%増の97億17百万円となりました。

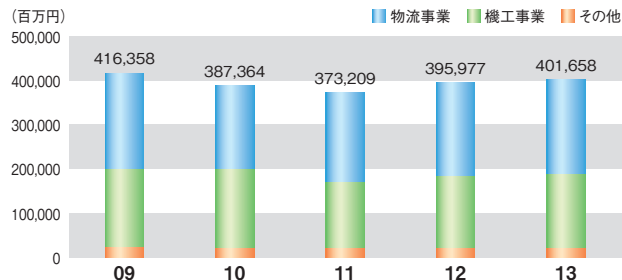
? セグメントごとの状況について

物流事業は、3PL（一括物流）の新規作業で増収となりましたが、港湾物流や構内作業の取扱量が減少しました。売上高は、2,151億4百万円と前期比0.5%の増収、営業利益は35億41百万円と14.4%の減益となりました。

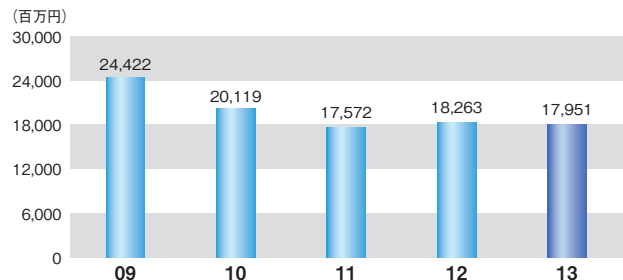
機工事業は、化学や鉄鋼の設備工事案件などで増収となりましたが、お客様のメンテナンス予算が縮小傾向で、利益は横ばいとなっています。売上高は1,666億44百万円と2.8%の増収、営業利益は129億54百万円と0.5%の減益となりました。

その他事業では、工事量が増え、機材賃貸が増加し、売上高は199億9百万円と0.5%の増収となりましたが、営業利益は10億67百万円と17.4%の減益となりました。

部門別売上高



経常利益





## 2014年3月期の見通しについて

国内景気は、デフレ脱却に向けた政府による経済対策、円安・株高の影響の本格化、復興需要、消費税率引上前の駆け込み需要等持ち直しが期待されます。海外景気につきましては、欧州の財政・金融問題の長期化と、中国の動向に注視が必要ですが、米国と新興国の回復の兆しを背景に、全体として緩やかな成長を見込んでおります。

国内外共に景気回復は期待されますが、実態経済として、現時点で底堅い成長を実感するには至っており、製造業各社も設備投資に慎重な姿勢を崩しておりません。

一方で、国内設備は、老朽化が進んでおり、安定的かつ効率的な稼働に向けての対応に加え、海外シフトに伴うサプライチェーンのグローバル化が更に進展す

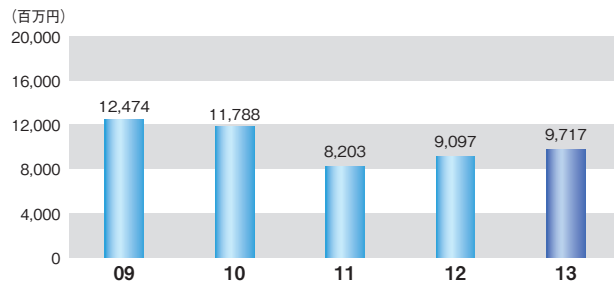
ると考えております。

以上のことを踏まえまして、2014年3月期の業績見通しにつきましては、売上高4,150億円、営業利益188億円、経常利益183億円、当期純利益107億円と、中期経営計画達成への基礎固めの年として、着実に増収増益を確保する計画としております。

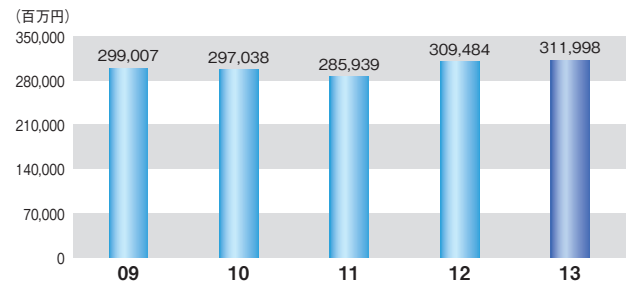
お客様の経営統合への対応や、基幹倉庫の収益改善、拡大する海外案件への対応、間接費を含めたコスト構造改革等を積極的に推進し、目標の達成に向け努力してまいります。

なお、中期経営計画の進捗状況につきましては、5ページと6ページをご覧ください。

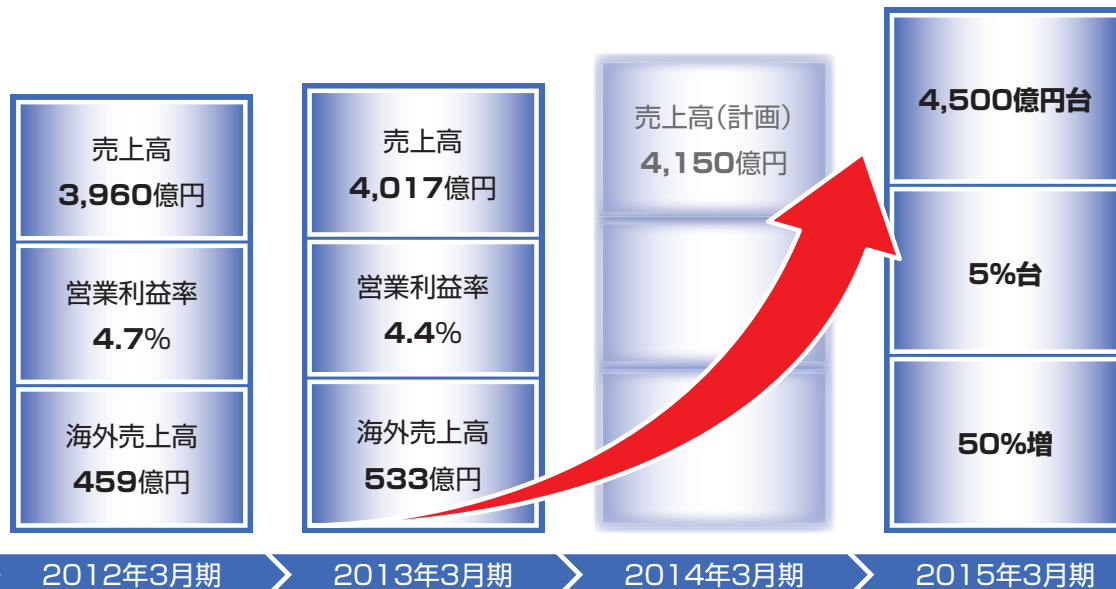
### 当期純利益



### 総資産



# 「将来にわたってお客様から選ばれる企業」であり続けるために 中期経営計画の進捗状況について



経営戦略：グローバル化の推進 .....

- 1 “3PL” “3PM” “EPTC” これら戦略商品のビジネスモデルの高度化と拡大
- 2 コア事業への経営資源の傾注と技術力の強化による競争力向上
- 3 “戦える原価” 作りによるコスト競争力強化と“圧倒的な動員力”の確立による差別化
- 4 企業文化として根づかせる“安全・品質・コンプライアンス”

※EPTC：プラント建設において設計・製作、調達、輸送、建設工事まで行う、トータルなサポート業務

## 取組事項



## 物流

## ▶ 3PL事業の受注拡大および収益改善

- 業界毎のプラットフォームを確立し、競争力のある提案により新規の顧客を獲得する。
- 初期コストの圧縮による物流センターの収益を改善する。
- M&Aを含めた抜本的な改革、拠点機能の強化を行う。

## ▶ グローバル貨物の拡大

- 営業担当者を海外の主要拠点に配置するなど、営業体制の充実を図る。
- 東南アジアと中国のネットワークを武器に、支配貨物を拡大する。

## ▶ 構内作業の領域拡大

- お客様の経営統合への対応を継続する。
- 既存フィールドを守ると同時に、新たなフィールドへの拡大を目指す。



## 機工

## ▶ EPTC事業の高度化

- 個別機能の技術力強化と海外支援の拡充を図る。
- EPTCの各機能と機材や土建機能を有機的に結合させたモデル作り。

## ▶ メンテナンス事業の拡大

- 新規顧客の開拓や既存顧客のフィールドの深耕拡大を図る。
- 海外運営体制の構築に取り組む。



## 人財育成・ダイバーシティ

## ▶ 非日系への拡大

- グローバルなコミュニケーション能力を兼ね備えた人財の確保と育成を行う。

## ▶ 中東地域における拡大

- 東南アジアエリアに中東(イスラム圏)の文化や風習を理解する要員を抱えている強みを最大限に活かす。

# 山九グループのユニークなビジネスモデル

プラント・エンジニアリング、ロジスティクス、オペレーション・サポートを有機的に結びつけ、お客様をトータルにサポート



山九グループは、プラント・エンジニアリング、ロジスティクス、オペレーション・サポートを有機的に結びつけた、世界でも類を見ないビジネスモデルを構築しています。プラントの企画段階から、設計・建設・重量物輸送・据付・試運転までのトータルなサポートが可能です。さらにお客様の操業支援と設備のメンテナンス、調達・生産・販売までの各種物流にいたるまで、すべてをお任せいただける体制を整えています。



工場の建設・工場の移転(日本→海外/海外→海外)・操業



調達物流



操業支援



生産物流



販売物流



保全





## サービス事例



## パナソニック様

パナソニック様は、2012年12月よりマレーシア工場にて太陽電池の生産を開始されています。山九グループは、日本で実施した製造ライン一式(12,000㎡)の船積、現地輸送、設備搬入作業が高く評価され、常例作業である完成品の輸出作業を獲得しました。

【作業内容】ペナン港での輸出通関、コンテナドレー作業



輸送



現地輸送



設備搬入



販売物流



## 技術

2012年11月

### 「卓越した技能者(現代の名工)」を初受賞

山九重機工の引地進氏が、厚生労働省主催の「平成24年度 卓越した技能者表彰(現代の名工)」を受賞いたしました。巨大構造物の溶接作業を誤差数ミリの精度で行うなど、卓越した技術が、工数削減や品質改善に大きく寄与していると評価されました。同賞は、山九グループとしても初受賞となります。

## 拠点

2012年12月

### 仙台塩釜地区に通関営業所を新設

1985年の東北支店開設以来、仙台塩釜地区における陸運業と輸送代理業に携わっています。仙台塩釜港での輸出入貨物取扱量の増加を受け、物流ネットワークの拡充を目的とした自社通関体制を確立するため、東北支店仙台事業所内に通関営業所を新設しました。

2012年9月

10月

11月

12月

2013年1月

2月

## 技術

2013年1月

### 国内初の大型球形ガスホルダー移設工事について

今年1月、大阪ガスエンジニアリング株式会社様の依頼により、国内初となる、大型球形ガスホルダーの移設工事を実施しました。日本ガス株式会社様の谷山供給所(鹿児島市)にある直径26.8m、重さ700トンのガスホルダーを同供給所内で輸送し、新たな設置先に据え付ける工事です。

ユニットドーリという特殊車両を3列編成し、140m先にある新たな設置先に輸送。円周上に配置された支柱に計24本のアンカーボルトを同時に挿入するための位置合わせをミリ単位で行い、一つのずれも生じることなく、時間内に完工しました。

山九グループは、重量物輸送の先駆けとして、お客様の様々なニーズに応えられるよう努めてまいります。



(今回輸送作業を行ったガスホルダー)

拠点

2013年3月

神戸に倉庫新設計画

関西における多機能基幹倉庫建設のため、神戸市が展開する複合産業団地「神戸テクノ・ロジスティックパーク」に、20,000㎡の用地を取得しました。これにより物流の効率化と拠点集約を進めるとともに、新たにソーラーシステムを活用した売電事業も検討しています。



(完成予想図)

3月

4月

5月

6月

7月

8月

安全  
技術

2013年4月

NACCSセンターとの  
サービス・プロバイダー契約

出航前報告制度は、海外から日本国内に入港する船舶へ積み込まれる海上コンテナの積荷情報を、船舶が出航する24時間前までに電子的に報告することを義務付けるものであり、平成26年3月の導入が予定されています。導入を前に、山九は、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 (NACCSセンター) とサービス・プロバイダー契約を締結しました。



技術  
開発

2013年5月

世界包装機構「ワールドスター賞」  
初受賞

世界包装機構WPOが主催するワールドスターコンテストにおいて、包装に対する世界的に権威のある、ワールドスター賞を初受賞しました。今回受賞したのは独自に開発した「ドラム缶循環輸送パレット」で、1人でも容易に2～4個のドラム缶を固縛でき、強度や省スペース性など様々な機能が評価されました。



# 連結財務情報

## 連結貸借対照表(要約)

当期：2013年3月31日  
前期：2012年3月31日  
(単位：百万円)

科目	当期	前期
●資産の部		
<b>流動資産</b>	<b>138,421</b>	<b>141,070</b>
現金及び預金	23,958	21,471
受取手形及び売掛金	101,520	105,642
その他	12,942	13,956
<b>固定資産</b>	<b>173,577</b>	<b>168,413</b>
有形固定資産	126,633	121,258
無形固定資産	8,462	8,498
投資その他の資産	38,481	38,656
<b>① 資産合計</b>	<b>311,998</b>	<b>309,484</b>
●負債の部		
<b>流動負債</b>	<b>117,956</b>	<b>121,551</b>
支払手形及び買掛金	54,800	57,663
短期借入金	38,121	36,184
その他	25,034	27,703
<b>固定負債</b>	<b>72,181</b>	<b>74,051</b>
長期借入金	27,328	26,406
退職給付引当金	30,322	33,321
その他	14,530	14,324
<b>② 負債合計</b>	<b>190,137</b>	<b>195,603</b>
●純資産の部		
<b>株主資本</b>	<b>119,504</b>	<b>115,493</b>
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	11,943	11,943
利益剰余金	87,665	80,643
自己株式	△ 8,724	△ 5,713
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 708</b>	<b>△ 4,002</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>3,064</b>	<b>2,388</b>
<b>③ 純資産合計</b>	<b>121,860</b>	<b>113,880</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>311,998</b>	<b>309,484</b>

## 連結損益計算書(要約)

当期：2012年4月1日～2013年3月31日  
前期：2011年4月1日～2012年3月31日  
(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	401,658	395,977
売上原価	371,180	366,101
<b>売上総利益</b>	<b>30,477</b>	<b>29,875</b>
販売費及び一般管理費	12,645	11,388
<b>営業利益</b>	<b>17,831</b>	<b>18,487</b>
営業外収益	1,819	2,027
営業外費用	1,699	2,251
<b>経常利益</b>	<b>17,951</b>	<b>18,263</b>
特別利益	—	375
特別損失	1,192	266
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>16,759</b>	<b>18,371</b>
法人税等	6,537	9,134
少数株主利益	504	140
<b>当期純利益</b>	<b>9,717</b>	<b>9,097</b>

### ① 資産合計の増加

国内外における新規設備投資による「有形固定資産」の増加等により、前期末比25億14百万円増加し、3,119億98百万円となりました。

### ② 負債合計の減少

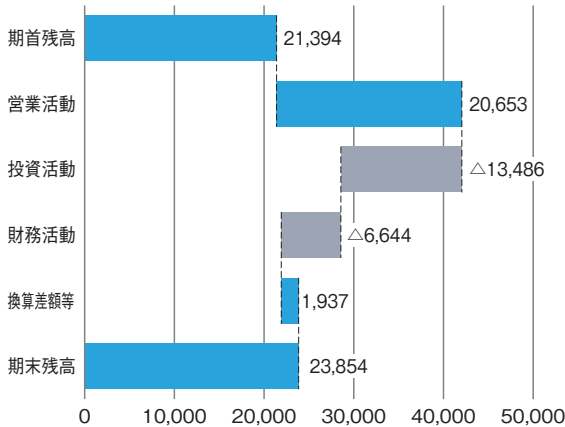
大型工事に係る債務の支払が進んだことによる「支払手形及び買掛金」の減少等により、前期末比54億65百万円減少し、1,901億37百万円となりました。

### ③ 純資産の増加

「利益剰余金」、株価回復に伴う「有価証券評価差額金」の増加等により、前期末比79億80百万円増加し、1,218億60百万円となりました。

(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー(要約) (2013年3月期) (単位: 百万円)



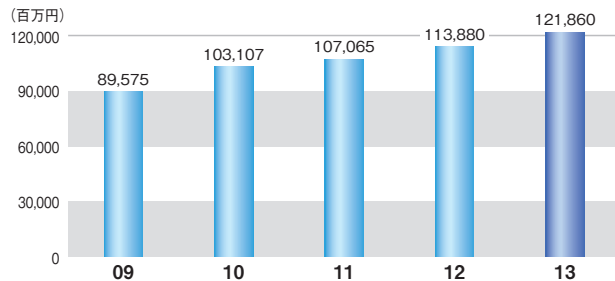
(注) 金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書(要約)

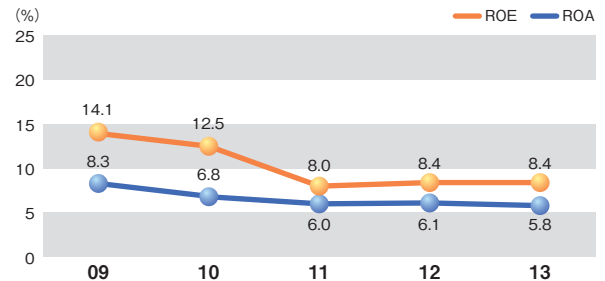
自 2012年4月 1日  
至 2013年3月31日  
(単位: 百万円)

	株主資本 合計	その他の包括 利益累計額合計	少数株主 持分	純資産 合計
2012年3月31日残高	115,493	△ 4,002	2,388	113,880
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当	△ 2,798			△ 2,798
当期純利益	9,717			9,717
自己株式の取得	△ 3,012			△ 3,012
自己株式の処分	0			0
連結範囲の変動	126			126
土地再評価差額金の取崩	△ 22			△ 22
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)		3,293	675	3,969
連結会計年度中の変動額合計	4,010	3,293	675	7,980
2013年3月31日残高	119,504	△ 708	3,064	121,860

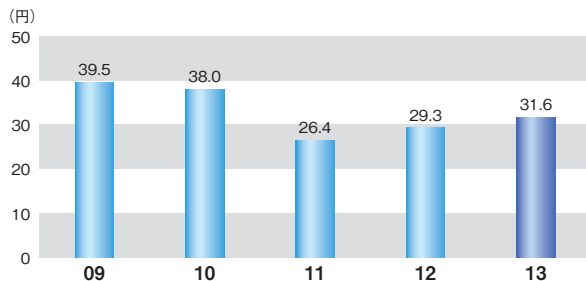
純資産



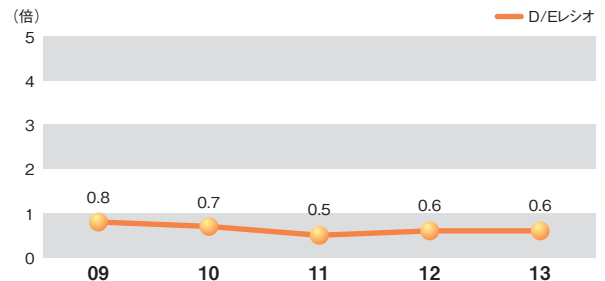
自己資本当期純利益率(ROE)/ 総資産経常利益率(ROA)



1株当たり当期純利益



D/Eレシオ



## 単体貸借対照表(要約)

当期：2013年3月31日  
前期：2012年3月31日  
(単位：百万円)

科目	当期	前期
●資産の部		
<b>流動資産</b>	<b>93,769</b>	<b>103,188</b>
現金及び預金	4,174	5,759
受取手形及び売掛金	79,238	85,924
その他	10,356	11,505
<b>固定資産</b>	<b>161,045</b>	<b>156,251</b>
有形固定資産	108,094	104,660
無形固定資産	6,583	6,272
投資その他の資産	46,367	45,318
<b>資産合計</b>	<b>254,815</b>	<b>259,440</b>
●負債の部		
<b>流動負債</b>	<b>107,067</b>	<b>112,673</b>
支払手形及び買掛金	48,232	52,639
短期借入金	42,810	42,075
その他	16,025	17,959
<b>固定負債</b>	<b>66,073</b>	<b>68,107</b>
長期借入金	26,992	25,902
退職給付引当金	28,020	31,077
その他	11,060	11,126
<b>負債合計</b>	<b>173,141</b>	<b>180,780</b>
●純資産の部		
<b>株主資本</b>	<b>78,823</b>	<b>76,926</b>
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	11,943	11,943
利益剰余金	46,919	42,011
自己株式	△ 8,659	△ 5,648
<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,850</b>	<b>1,733</b>
<b>純資産合計</b>	<b>81,673</b>	<b>78,659</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>254,815</b>	<b>259,440</b>

## 単体損益計算書(要約)

当期：2012年4月1日～2013年3月31日  
前期：2011年4月1日～2012年3月31日  
(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	316,114	316,723
売上原価	294,197	294,909
<b>売上総利益</b>	<b>21,917</b>	<b>21,813</b>
販売費及び一般管理費	9,341	8,904
<b>営業利益</b>	<b>12,576</b>	<b>12,909</b>
営業外収益	2,297	1,838
営業外費用	1,499	1,691
<b>経常利益</b>	<b>13,373</b>	<b>13,056</b>
特別利益	—	—
特別損失	1,151	256
<b>税引前当期純利益</b>	<b>12,221</b>	<b>12,800</b>
法人税等	4,492	6,860
<b>当期純利益</b>	<b>7,729</b>	<b>5,939</b>

## 1株当たり情報 (単体)

科目	当期	前期
当期純利益	25円11銭	19円10銭
配当金	9円	9円
純資産	270円65銭	252円93銭

(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## コーポレートデータ

**会社名** 山九株式会社  
**住所** 〒104-0054 東京都中央区勝どき六丁目5番23号  
**資本金** 28,619百万円  
**事業所** 国内支店 39、海外駐在員事務所 1  
**関係会社** 国内 44、海外現地法人 38  
**従業員数** 10,056名  
**お問合せ先** 総務・CSR部 Tel.(03)3536-3939  
**IRホームページ** <http://www.sankyu.co.jp/ir/>

● IR関連のより詳しい情報については当社IRサイトをご覧ください。

## 山九グループ概要

### 主な国内山九グループ

#### ● 機工グループ

山九プラントテクノ  
 平和テクノス  
 中央テクノ  
 山九重機工  
 山九設計サービス

#### ● 物流グループ

サンキュウショッピング  
 山九海陸  
 山協港運  
 中部海運  
 スリーエス・サンキュウ  
 サンキュウ・トランスポートグループ(6社)  
 サンネット物流  
 JPサンキュウグローバルロジスティクス  
 広菱倉庫運輸  
 協和海運

#### ● サービスグループ

インフォセンス  
 サンキュウビジネスサービス  
 山九東日本サービス  
 山九中部サービス  
 山九近畿サービス  
 中国ビジネスサービス  
 大分ビジネスサービス  
 山九ロードエンジニアリング  
 山九保険サービス  
 サンキュウリサーチアンドクリエイト  
 サンキュウ・ウィズ  
 防府ポートビル  
 沖永開発

### 主な海外山九グループ

#### ● 東アジア

山九東源国際(香港)  
 大連山九国際物流(大連)  
 上海経貿山九儲運(上海)  
 広州山九物流(広州)  
 青島山九亜太物流(青島)  
 江蘇山九物流(南京)  
 北京山九物流(北京)  
 上海山九設備安装工程(上海)  
 太栄山九国際物流(韓国)

#### ● 東南アジア・中東

山九東南アジアホールディングス  
 山九インドネシア  
 山九シンガポール  
 山九マレーシア  
 山九タイ  
 山九レムチャバン(タイ)  
 タイバージコンテナサービス(タイ)  
 山九ロジスティクスベトナム  
 山九ベトナム  
 山九マナールサウジアラビア  
 山九 ARCC(サウジアラビア)  
 山九インド

#### ● 米欧州

山九ユー・エス・エー  
 山九ヨーロッパ(オランダ)  
 山九ブラジル  
 山九ロジスティクスブラジル

## 役員 (2013年6月27日現在)

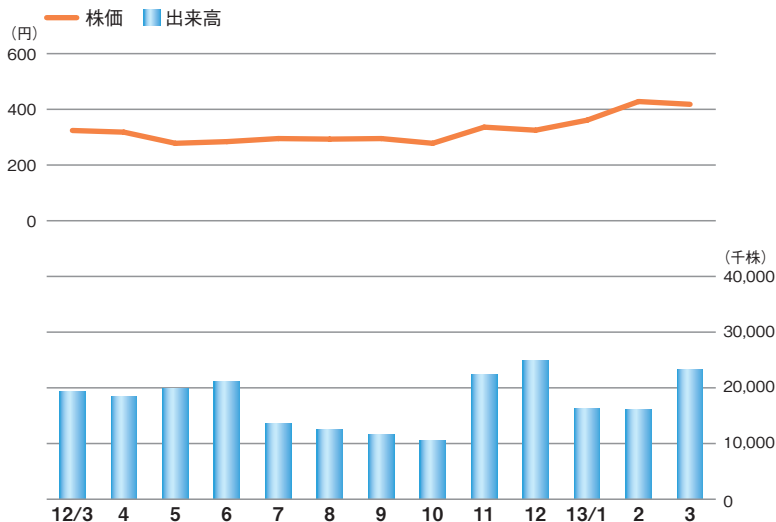
代表取締役社長	中村 公一
代表取締役専務取締役〔事業・エリア管掌〕	平栗 直樹
代表取締役専務取締役〔総務・法務・広報・経営企画管掌兼安全・環境統括〕	平山 喜三
代表取締役専務取締役〔財務・人事・労政・技術・システム管掌〕	村上 喜一
取締役兼常務執行役員〔経営企画担当〕	西島 宏幸
取締役兼常務執行役員〔ロジスティクス・ソリューション事業本部長〕	藤富 孝
取締役兼常務執行役員〔技術・開発本部長 CTO〕	藤田 泰
取締役兼常務執行役員〔財務担当 CFO兼資金部長〕	中里 康男
取締役兼常務執行役員〔ビジネス・ソリューション事業本部長〕	池上 僚一
取締役兼常務執行役員〔プラント・エンジニアリング事業本部長〕	美好 秀樹
取締役兼常務執行役員〔経営企画担当付(特命事項担当)〕	吾郷 康人
取締役兼執行役員〔人事・労政担当〕	細井 研二
取締役兼執行役員〔事業・エリア管掌付(特命事項担当)〕	米子 哲朗
取締役兼執行役員〔エリア統括〕	中村 公大
常勤監査役	野田 秀臣
常勤監査役	島田 正彦
常勤監査役(社外監査役)	武田敬一郎
社外監査役(弁護士)	小川 憲久

## 株式データ (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,000,000,000 株
発行済株式総数	326,078,030 株
株主数	17,419 名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	26,786	8.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,534	6.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	17,696	5.42
新日鐵住金株式会社	13,263	4.06
財団法人ニビキ育英会	9,800	3.00
株式会社みずほコーポレート銀行	8,310	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	6,746	2.06
山九従業員持株会	6,546	2.00
ザチエスマンハットンバンク エヌエイロンドン エスエルオムニス アカント	6,124	1.87
明治安田生命保険相互会社	6,000	1.84
合計	121,806	37.35

## 株価・出来高の推移



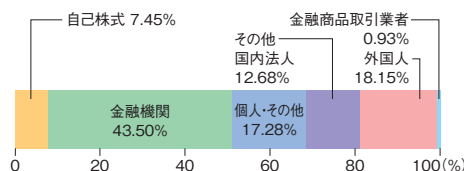
## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
期末配当金	
受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sankyu.co.jp/koukoku/">http://www.sankyu.co.jp/koukoku/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

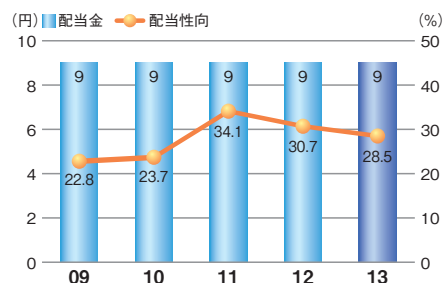
### (ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 所有株式数別構成比率



## 1株当たり配当金 / 配当性向



 **山九株式会社**

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>

